

秋晴れとなった9月16日
(月)、^{にき}輪之内町立仁木保育園
の年長園児34名が、ヤギ
とのふれ合いイベントを楽し
みました。

このイベントは、国土交通
省揖斐川第二出張所が、河川
管理の一環として、例年、実
施している除草作業に対する
近隣住民への理解とイメージ
アップを図ることを目的に、
同工事を請け負う加藤建設
(株) (揖斐川町春日小宮^{かすがこみやかみ}
神) と企画したものです。



ヤギにエサの草を与える仁木保育園の園児たち

～ 除草作業のイメージアップ作戦 ～

ヤギとのふれ合いイベント、地元園児が『メェ～メェ～（命名）』

ヤギによる除草は先月24日から今月30日までの約1ヶ月間実施を予定。ヤギは3頭で、揖斐川町の建設会社から借り受け、揖斐川左岸堤防に近い約1千平方メートルの国有地で放牧されています。親ヤギのタロウ以外の若い2頭に名前が無かったため、園児が挙げた名前の候補から多数決を取り、「リ्यूクン」「ヤックン」と命名。その他、クイズを通して「働くヤギ」の話しを聞いたり、ヤギに草を与えながら触れ合いを楽しみました。

「リ्यूクン」を挙げて採用された篠田怜生君(5)は「草をいっぱい食べてくれて可愛かった」と喜び、橋口大地君(6)は「ヤギは可愛かった。触ったらサラサラで気持ちよかった」と話してくれました。

静かな田園地帯に賑やかな園児の声が響き渡る和やかなイベントとなりました。



園児にヤギの話しをする揖斐川第二出張所の後藤事務係長



「ヤックン」の名前を挙げ採用された園児に、メダルを授与する細野揖斐川第二出張所長ほか



参加者一同による集合写真 二 輪之内町大吉新田の揖斐川左岸堤で

【ヤギとのふれ合い会を通じて】

今回のイベントについて、“やって良かった。本当に良かった。”これが素直な実感です。

このヤギ除草のイベント話が持ち上がった時、現場スタッフの意見はやるべきか？ やらざるべきか？ で揺れ動きました。美濃加茂市でヤギの盗難事件が起きたばかりだったからです。そんな、重苦しい気持ちを一扫するお話がありました。仁木保育園の園長先生にふれあい会のご相談にお邪魔したときの事です。園長先生から『是非、ふれあい会をして下さい。子供達も楽しみにしています。保育園に来る足が重くなっていた園児が喜んで登園するようになったんです。』とお話を頂きました。ヤギの“癒し効果”は凄いなと思いました。

ふれあい会当日は晴天に恵まれ、園児たちの無邪気な笑顔と笑い声に会場全体が包み込まれ、誰もが本当に優しい顔になっていました。自分で言うのもおかしいですが、今回のイベントを通じ、園児たちのやる気に満ち溢れた笑顔を見て、一番の癒しを貰えたのは、私だったのかも知れません。



加藤建設（株）
現場代理人 加藤竜也

